

2-1-1 教員の学位や業績

【体育学部】

健 康 科 学 科	名前(読み)	坂本 賢広 (さかもと たかひろ)
	職 名	助教
	取得学位	修士 (スポーツ健康科学)
	専門分野 研究領域	柔道整復学, スポーツ医学 (内科系), フライングディスクスポーツ
	担当授業	整復学実技Ⅲ, Ⅳ, Ⅴ, Ⅵ, Ⅶ 基礎柔道整復学Ⅱ (骨折), 基礎柔道整復学Ⅳ (捻挫) 他
	研究業績	<p>【論文】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「社会人選手の体力的特徴と試合中の身体的負荷から見たアルティメットの競技特性」順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科 学位論文 (修士 (2020)) 「経皮的吸引療法機器施術時における大腿浅層部の血流動態について」環太平洋大学研究紀要第19号 pp. 51-55 (2021) (共著) <p>【学会発表】</p> <ol style="list-style-type: none"> 「アルティメット競技におけるスポーツ外傷・障害調査」日本柔道整復接骨医学会第24回学術大会プログラム抄録集pp. 109 (2015) 「Boxer's Fracture(第5中手骨頸部骨折)の早期復帰が可能となった1症例」日本柔道整復接骨医学会第24回学術大会プログラム抄録集pp. 126 (2015) (共同) 「アルティメット競技者における腱板損傷の一症例」日本柔道整復接骨医学会第26回学術大会プログラム抄録集pp. 121 (2017) 「局所的振動刺激機器を用いたストレッチが女子バスケットボール選手の身体機能に及ぼす影響」日本臨床スポーツ医学会誌26巻4号pp. S213 (2018) (共同) 「局所的振動刺激機器を用いたストレッチがストレスに及ぼす影響」第25回日本心臓リハビリテーション学会学術集会pp. 112 (2019) (共同) 「柔道整復師を目指す学生の身体活動能力に関する研究」日本柔道整復接骨医学会第30回学術大会プログラム抄録集pp. 52 (2021) 「長期間感染症の流行に曝露された学生に及ぼす衛生学的教育の効果の検討」日本柔道整復接骨医学会第30回学術大会プログラム抄録集pp. 52 (2021) (共同) 「経皮的吸引施術での後谿穴刺激による肩関節可動域変化について」岡山県柔道整復師会学術大会 (2022) (共同)
	所属学会 学会活動	日本柔道整復接骨医学会
	社会貢献	一般社団法人日本フライングディスク協会 国内大会運営委員会委員 (2021年6月～) 同協会全日本選手権大会救護スタッフ (2021年9月～)